

令和5年度硬式野球部の指導方針等について

令和6年1月26日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	井上 雅章	大森 泰雅		週一回
副顧問	木住野 大樹			
副顧問	角谷 俊一			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
感謝・向上心・計画実行をもとに社会で活躍できる人の育成を目指す。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
ベスト8以上の進出を目指して日々の練習に取り組む。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に6日間とし、練習時間は、平日2時間、休日4時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
毎週末に競技力を高めるため強豪チームと練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 活動の手順

- ・着替えは部室で(部室は清潔に保つこと)。
- ・活動の準備(道具、用具)。
- ・ミーティングしてからはじめる。(今日のやるべきこと・ポイントの確認)
- ・ウォーミングアップ(ジョギング・準備運動・ストレッチ)
- ・基礎練習・部分練習・本練習
- ・クーリングダウン(ジョギング・整理運動・ストレッチ)

・活動が終わったら、ミーティング